

科目名	サッカーゲーム1							年度	2024								
英語科目名	Soccer Game 1							学期	前期								
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 1年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※								
担当教員	永山、丸山（マリノス）、八重樫、志佐		教員の実務経験		有	実務経験の職種 クラブチームにてサッカーコーチとして従事											
【科目の目的】																	
公式戦では、日頃のサッカートレーニング、フィジカルトレーニング、ゲーム分析を通じ、最大限のパフォーマンスを発揮し、上位カテゴリーへ昇格できるようにする。また、練習試合では公式戦で勝利するためのトライ＆エラーをおこない、特にエラーについてはゲーム分析ならびトレーニングにて改善をし次戦では改善されたパフォーマンスが発揮できるようにする。																	
【科目の概要】																	
神奈川県社会人サッカー公式戦とクラブユース・大学・高校との練習試合を実施します。																	
【到達目標】																	
A.個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる B.チーム戦術の中で個人としてのトライを行いエラーの理解をもとに修正できる C.試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる																	
【授業の注意点】																	
遅刻、欠席の場合は、授業前に教員室へ電話連絡をすること。安全性を確保すること（学生自身の十分な体調管理、ゲーム環境の確認と設営）。夏季は熱中症対策を強化する（各自水分補給を行うこと、回数の確保）。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。																	
評価基準＝ループリック																	
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力												
到達目標 A	個人としてのトライを行いエラーの理解をもとに修正できる		個人としてのトライを行いエラーの理解が理解できる			個人としてのトライを行いエラーの理解が理解できない											
到達目標 B	チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解をもとに修正できる		チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解ができる			チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解ができない											
到達目標 C	試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる		試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれる			試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれない											
到達目標 D																	
到達目標 E																	
【教科書】																	
配布プリント																	
【参考資料】																	
【成績の評価方法・評価基準】																	
試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。																	

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		サッカーゲーム 1			年度	2024
英語表記		Soccer Game 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法 自己評価
1	練習試合① クラブユース	公式戦で勝利する ために個人、チームが 試合を通じトライ& エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える	2
2	練習試合② 高校		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
3	練習試合③ 大学		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
4	練習試合④ 高校	公式戦で勝利する ために個人、チームが 試合を通じトライ& エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える	2
5	練習試合⑤ クラブユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
6	練習試合⑥ 高校		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
7	練習試合⑦ 大学	練習試合をで培ったも のを個人、チームとし て勝利のために 発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える	2
8	神奈川県 社会人 公式戦①		2 試合中	個人、チームが勝利を追求しハノオーマンス発揮がで きる		
9	練習試合⑧ クラブユース		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
10	練習試合⑨ 高校	公式戦で勝利する ために個人、チームが 試合を通じトライ& エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える	2
11	練習試合⑩ 大学		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
12	神奈川県 社会人 公式戦②		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
13	練習試合⑪ 高校	練習試合をで培ったも のを個人、チームとし て勝利のために 発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	個人、チームが勝利を追求しハノオーマンス発揮がで きる	2
14	練習試合⑫ 大学		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
15	神奈川県 社会人 公式戦③		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		

評価方法 : 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価 : S : とてもよくできた、A : よくできた、B : できた、C : 少しうまくなかった、D : まったくできなかった

備考 等